



建築・インテリア領域

准教授 加藤 祥子

専門分野

建築物緑化
室内緑化
環境心理

学位・資格

博士（学術）

研究者情報
(Research Map)

専門分野と社会との関わり

身近な自然、植物が人間の心理に及ぼす影響に関する研究を行っています。人々が快適に、健康的に、生活するには、身近な空間に自然の要素は欠かせません。一方、そういった認識は経験上では持たれていますが、科学的な証拠(エビデンス)は十分には認識されていません。それらを研究で明らかにするとともに、既往の研究によって明らかにされている知見をまとめ、課題を抽出する取り組みも行っています。



最近の活動紹介

教育活動／研究活動／地域貢献活動

自然物導入の志向と環境配慮行動

建物内に自然素材や植物などの自然を取り入れたデザインは、バイオフィリックデザイン(BD)と呼ばれ、在室者の健康を高める手法として注目されています。オフィスにBDを取り入れたいと思うかワーカーに調査したところ、BDが費用に見合う効果があれば、導入を検討してほしいとの意見が、他の生産性に資する施設の導入要望と同程度の約3割見られました。BD志向の高い人は、日常的に環境配慮行動をとっていることも分かりました。



授業紹介／ゼミ生による教員紹介

ゼミ生によるインテリアデザイン研究室の紹介

加藤先生のインテリアデザイン研究室では、1年次には木材を使用した家具の製作、2年次にはインテリアや環境共生に関する卒業制作に取り組みます。ゼミの時間は学生それぞれが真剣に課題に向き合い、黙々と作品制作を進めています。制作が思うように進まなかったり、アイデアに行き詰まったりしたときは迷わず加藤先生に相談しています。ひとりひとりの悩みに対して真摯に耳を傾けてくださり、学生の考えを尊重しながらもより良い表現や方向性を一緒に考えてくださる姿勢にいつも支えられています。

